

第4期 瀬谷区地域福祉保健計画(令和3年度~7年度)

# 暮らしやすいまちづくりの計画

## 地区別計画策定・推進にあたって



令和2年2月

第4期瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会

第4期瀬谷区地域福祉保健計画事務局

# 目次

第1章 地域福祉保健計画について . . . . . 1

第2章 地区別計画策定にあたっての考え方 . . . . . 4

考え方①

地域福祉保健計画を「暮らしやすいまちづくりの計画」としてみんなで考え  
地域全体で取り組む

考え方②

瀬谷区地域福祉保健計画の「基本理念・基本目標」を実現するための取組を検討する

第3章 地区別計画の進め方について . . . . . 8

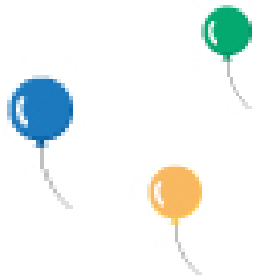
第4章 地区支援チームと事務局について . . . . . 10

参考資料

第4期地区別計画様式（ひな型） . . . . . 11

策定懇談会メンバー紹介 . . . . . 12

先生よりコメント . . . . . 13



# 第1章 地域福祉保健計画について

## ◆地域福祉保健計画とは

地域福祉保健計画は、「地域に暮らす誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせるように、区民・団体・事業者・行政の役割と連携を明確にし、支え合う仕組みをつくる」ことを目的としています。

## ◆基本理念

みんなでつくる みんなのしあわせ

この計画は、支援が必要な本人やその家族だけでなく「すべての人」が対象となる計画だよ



## ◆計画期間

第4期 令和3年度～令和7年度

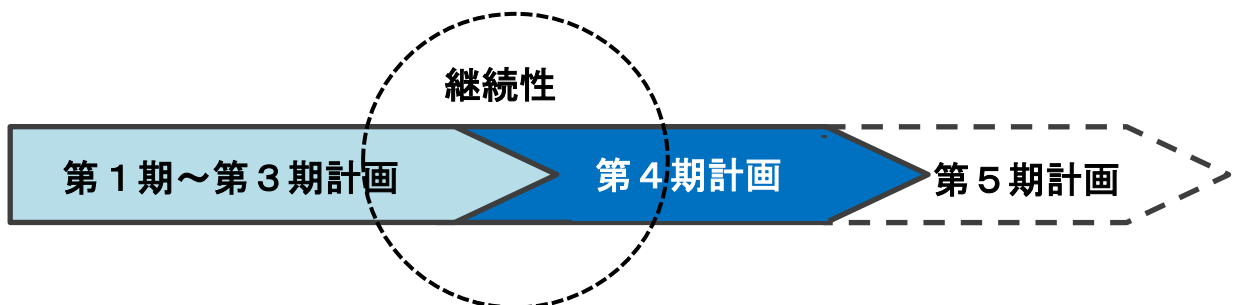
第1期 平成18～22年度（5年間）	第2期 平成23～27年度（5年間）	第3期 平成28～令和2年度（5年間）
<b>成果</b> <ul style="list-style-type: none"><li>見守り体制づくりの推進</li><li>サロンなど、地域の交流の場が増加</li><li>地区別計画の推進を支援する、地区支援チームの設置</li></ul>	<b>成果</b> <ul style="list-style-type: none"><li>見守り、支え合い活動の推進</li><li>健康づくり、生きがいつくりの活動が増加</li><li>区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザの連携強化</li></ul>	<b>成果</b> <ul style="list-style-type: none"><li>認知症カフェ、学習支援、子ども食堂など新たな場ができた。</li><li>地区での健康づくりの取組が増えた。（ウォーキング、介護予防）</li><li>障害についての理解が進んだ。</li><li>生活支援コーディネーターの配置により、関係機関との連携や地域への支援が進んだ。</li></ul>



## 第4期 令和3年度～令和7年度

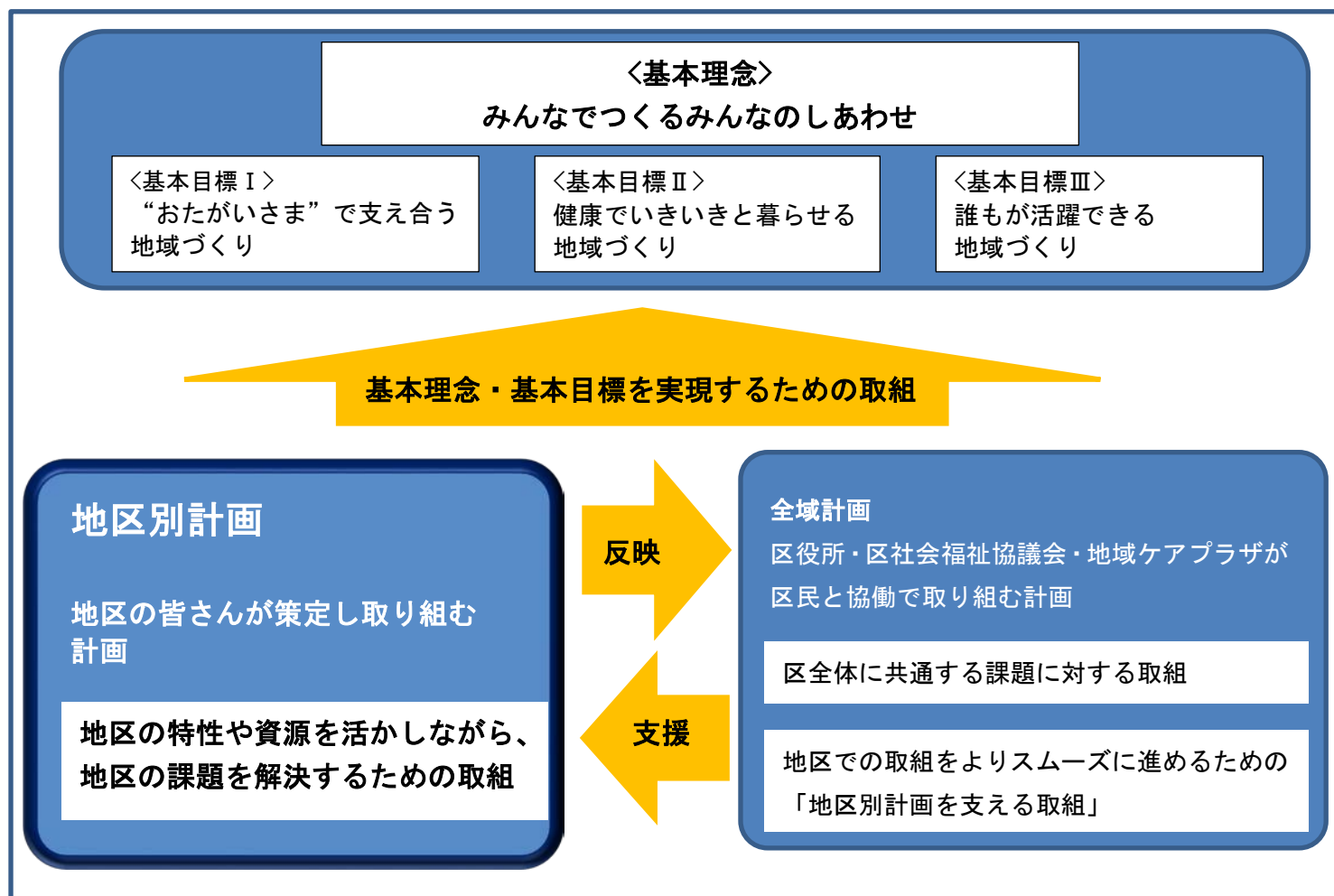
第1期計画から第3期計画にかけて、サロンなど様々な地域交流の場が増加し、健康づくり・生きがいつくりの活動も増えました。そして、見守り、支え合い活動も大きく前進してきました。また、区民、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、区役所との連携強化により、計画の推進が一体的に進められています。

第4期計画は、これまでの様々な取組の成果を生かし、引き続き推進するため、第3期計画との「継続性」を持たせ、区として充実が必要な内容について反映させています。



#### ◆第4期瀬谷区地域福祉保健計画の全体像

瀬谷区地域福祉保健計画は「**地区別計画**」と「**全域計画**」で構成されています。全域計画と地区別計画が相互に連携して取組が進められるよう、基本理念と基本目標を共有することとしています。



#### ◆地区別計画とは

地区別計画とは、誰もが安心して暮らせる地域をめざし、地域が抱える課題などを地域の人たちが自ら解決しようとしている活動（＝地域福祉保健活動）の計画です。

地区の皆さんがその地区の生活課題について検討し、地区の特性や資源を活かしながら、地区の課題解決のために策定・推進する行動計画です。

瀬谷区地域福祉保健計画がめざしているのは、

**「誰もが安心して健やかに暮らせる地域づくり」**です。

その基本にあるのは、

**「住民同士の見守り合い、支え合い、助け合い（自助・共助の取組）」**です。

そのためには、

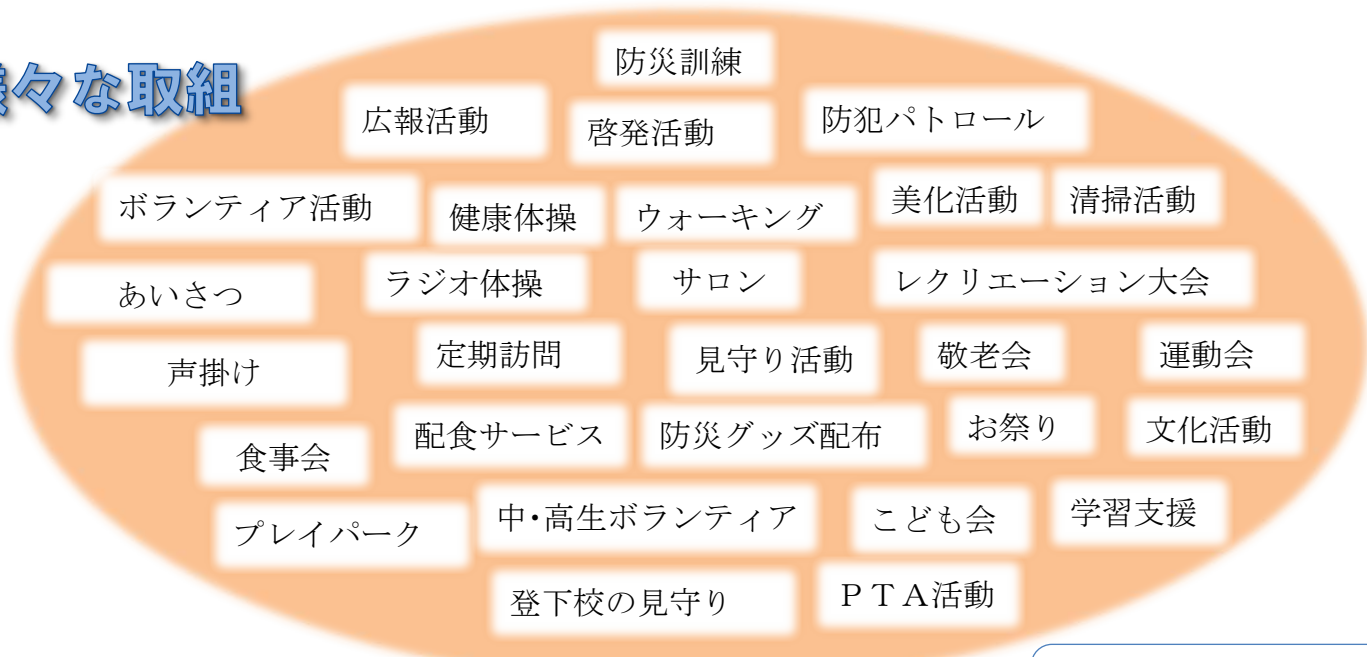
**日常の活動を「お互いの顔が見える関係」の中で取り組む必要があります。**

身近な課題の解決には、「人・場所・（身近な）情報・（場合によって）お金」が必要ですが、これらは瀬谷区内でも地区によって状況が異なります。

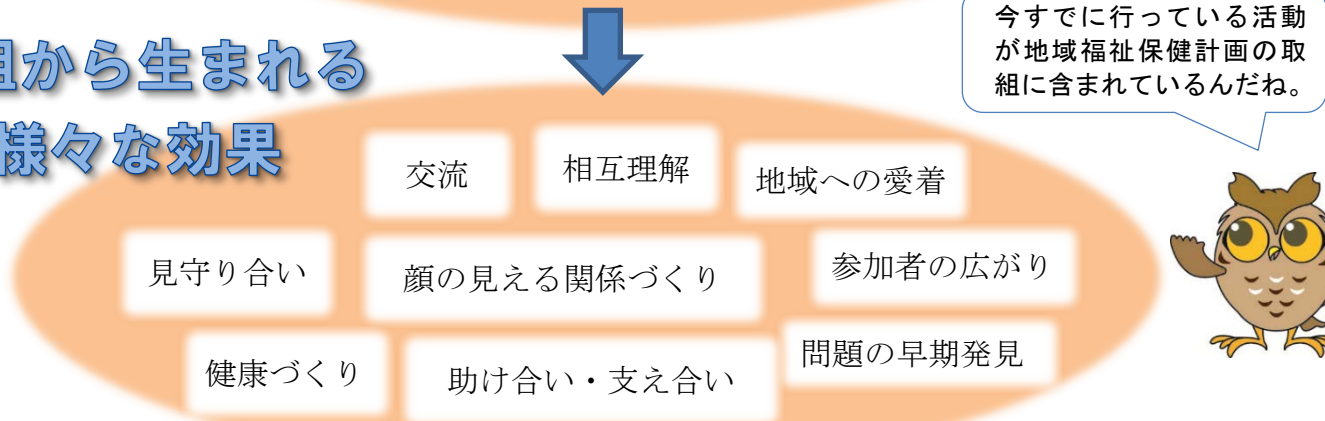
**それぞれの地区の状況に応じて解決策を考える必要があります。**

# 日常の様々な取組～暮らしやすいまちづくりのイメージ

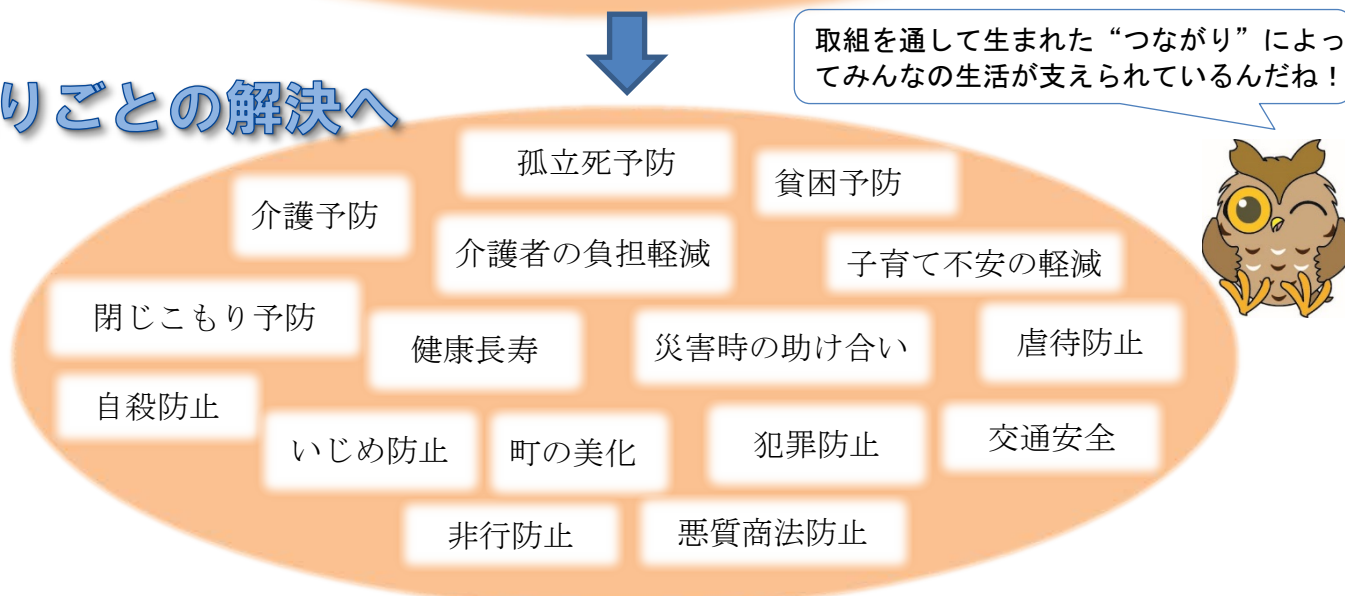
## 様々な取組



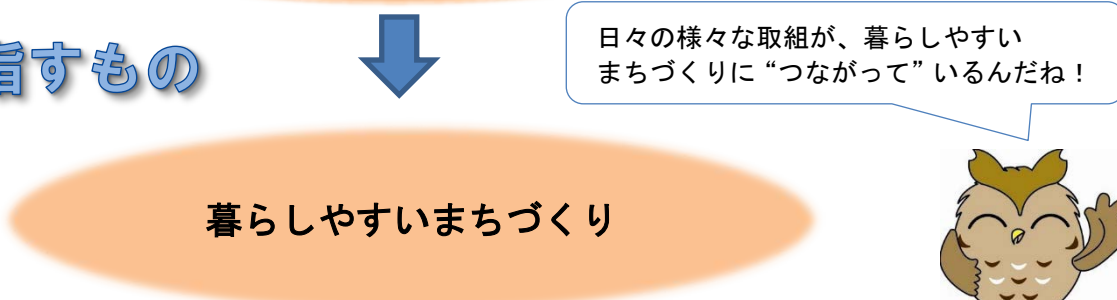
## 取組から生まれる 様々な効果



## 困りごとの解決へ



## 計画が目指すもの



みんなで作るみんなの計画

誰もが住みやすくなることを目指して  
住民から広く意見をききました



いろんな人の“困った”が届きました  
こんなに...



いろんな人の“できるよ!”も  
届きました



「できるよ!」をつなげていくと  
少しずつ解決することが  
増えてきました



あなたがつくるみんなのしあわせ

定年おめでとう!

ありがとうございます

あーついに  
退職か  
不安だなあ



掲示板

はじめだよ

ぼくにもできるかな?

近所なんだ  
ね一緒に  
やってみない?

へー  
そんな活動があるのか

あれ?

あんなに

地域の草とり  
ボランティア  
大募集!

おじさん

会う

よく道で



上手いね!  
助かるよ!

草むしりなんて  
やったことない  
けれど



ありがとう!  
あなたが  
おかげで庭が  
きれいに  
なりました

仲間ができて  
うれしいよ!

歓迎会  
やるよ!

カラオケ好き?

こんなに  
喜んでもら  
えるなんて



### 考え方①

#### 地域福祉保健計画を「暮らしやすいまちづくりの計画」としてみんなで考え地域全体で取り組む

今日の私たちの暮らしには、少子高齢化、核家族化、地域関係の希薄化、生活困窮等、生活上の様々な課題があります。

地区別計画は、行政の支援だけでは解決できない生活上の課題についても、地域の支え合い・助け合い（自助・共助の取組）で解決し、「暮らしやすいまちづくり」を進めていこうとするものです。

現在、地区で行われている様々な取組を「暮らしやすいまちづくり」の視点で見直し、地区別計画の取組として検討してみましょう。

そして、地区別計画の策定・推進にあたっては多くの方が関わることができるように仕組みや体制を検討しましょう。

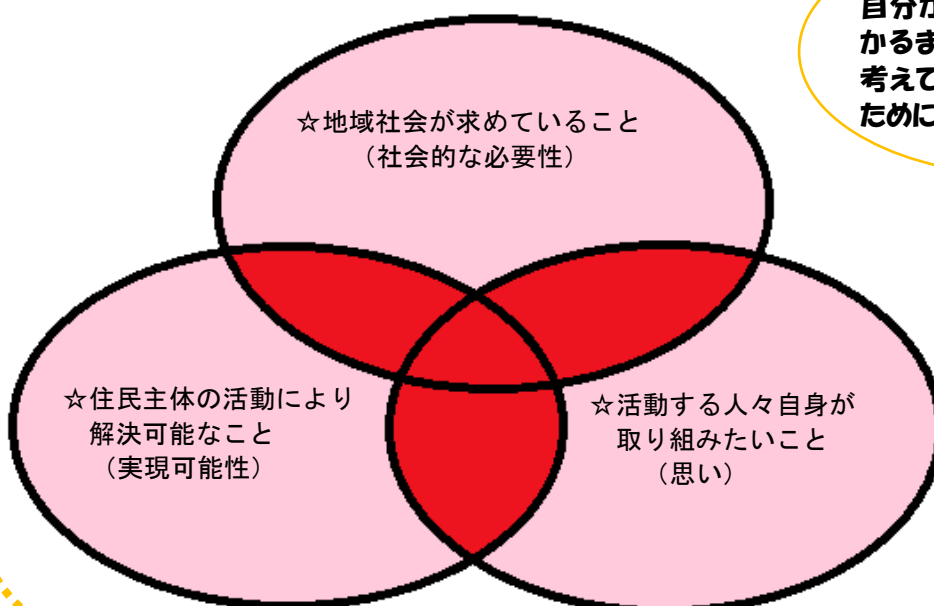


#### Q なぜ、地区別計画を作るの？

地区によってさまざまな特性があり、状況も異なるため、その地区の状況に応じて解決策を考える必要があります。そのため、自分たちの住むまちの特性や資源を活かしながら、地区の課題解決のため住民自ら活動の計画を立て、誰もが安心して暮らせる地域をつくるために地区別計画を作っています。

#### Q 地区別計画には、どんなことを盛り込めばよいの？

地区別計画に盛り込む取組を検討する際には、「必要性・可能性・思い」について考えてみましょう。これが、重なってくる部分は特に重要性が高まります。



自分が住んでいるからこそわかるまちの課題を、みんなで考えて、もっといいまちにするために計画を作るんだね。



## 考え方②

### 瀬谷区地域福祉保健計画の「基本理念・基本目標」を実現するための取組を検討する

第4期地域福祉保健計画について、区民意識調査・団体ヒアリングの結果や第4期地域福祉保健計画策定懇談会の意見を基に、瀬谷区全体で取り組む3つの「基本目標」を取りまとめました。

各地区でも地区の特徴を生かしながら、瀬谷区共通の重点課題として、「基本理念・基本目標」を実現するための取組を検討しましょう。

また、地域福祉保健計画を実現するために、目標全体に共通する視点として5つの大切なことも意識して地区別計画を作成しましょう。

#### 策定懇談会でのご意見

- ・虐待やダブルケアなど困っている人は増えているのに、なかなか気づくことができない。
- ・こどもでも障害があっても、一人ひとりできることがたくさんある。支援する側される側を分けず、おたがいさまの気持ちを大切にしたい。
- ・地域の中で専門性と気づきの間をつなぐしくみが必要。
- ・見守りは進んだが、支え合うところはさらに進めていきたい。



おたがいさま 気づき  
支え合う

- ・すべての年齢層で健康長寿にしたい。元気で生きがいをもって生活したい。
- ・こどもの健康は学校だけでなく、地域でも考えていく。
- ・認知症に対する理解を深め、予防という観点で考えていく。



すべての年齢層  
健康 元気 生きがい

- ・色々な人が活動に参加できる状況はまだできていない。
- ・みんなが活躍でき、役割があるような雰囲気やしくみが大事。
- ・障害のある人も一緒に活動に参加できる取り組みを増やす。



色々な人が参加  
役割 活躍

- ・支援をつなぐしくみづくり、個人情報や担い手の課題に対するしくみづくりが必要。
- ・多様性を認め合える地域づくりが大事。
- ・こども達が、素直に育っていく地域づくりをしていきたい。
- ・計画は、第3期から第4期に継続することが大切。
- ・居場所づくりは活動が生まれる原動力。役割があることも居場所。



こども 多様性 居場所  
しくみづくり  
第3期からの継続



# 第4期 瀬谷区地域福祉保健計画

## 【基本理念】 みんなでつくる みんなのしあわせ

### 基本目標Ⅰ “おたがいさま” で支え合う地域づくり

見守り、支え合いは、居場所づくりや交流の取組によって大きく前進してきました。第4期計画では、認知症の人、障害のある人、生活に困っている人等、様々な人が地域で生活していることをみんなが気づき、支える側・支えられる側を分けることなく、孤立している人がいない、みんなで支え合う“おたがいさま”の地域を目指します。

### 基本目標Ⅱ 健康でいきいきと暮らせる地域づくり

これまでの健康づくりの取組によって、健康意識の向上や地域活動など人と人とのつながりも広がってきました。引き続き第4期計画でも、誰もが自分らしくいきいきと過ごし、年齢に関係なく、お互いが理解し合い、元気で生きがいを持って生活することを目指します。

### 基本目標Ⅲ 誰もが活躍できる地域づくり

これまでの取組を通し、子育て支援、高齢、多世代交流など地域の身近な参加の場が広がってきました。これからは、これまで参加が少なかった若い人や男性等にも地域を知ってもらうきっかけ作りが大切です。そして、地域で暮らす誰もがそれぞれの立場で活躍できることを目指します。

## ♡基本目標を実現するために大切なこと♡

### ①一人ひとりの個性を尊重する意識づくり

こどもから大人まで、認知症や障害の有無、国籍や性別に関わらず、一人ひとりを大切に多様性を認め合いましょう。

### ②健やかにこどもが育つ環境づくり

こどもがのびのびと安心して暮らせるまちを目指し、地域でこどもを育てるという風土をつくりましょう。

### ③幅広い世代や多様な人が安心できる居場所づくり

誰もが社会参加できる居場所をみつけられるような機会をつくりましょう。

### ④連携を深めつながりを強化するネットワークづくり

現在、様々な支援機関や団体、学校、企業があり、地域住民とのさらなる協働が求められています。情報の共有や発信、地域資源の活用などネットワークづくりをすすめましょう。

### ⑤必要な人に必要な支援が届くしくみづくり

本当に困っている人が、孤立せず、支援につながられるよう、誰もが住みやすい社会をつくりましょう。

## 第3章 地区別計画の進め方について

### ◆第4期に向けての振り返り・計画検討例

#### 第1期～3期における変化や成果を見つめる（振り返り）

##### <成果>

地区のどんなところが良くなったかな。

どんな活動が進んだかな。



##### <成功要因>

うまく進んでいる理由は何かかな。

##### <反省点>

思うように取組が進まなかったのはなぜかな。

##### <課題>

今後、取り組むべきことは何かかな。



#### 5年後の地区や自分たちの活動の姿を話し合う（第4期計画の検討）

今ある活動を続けていくためには何が必要だろう？

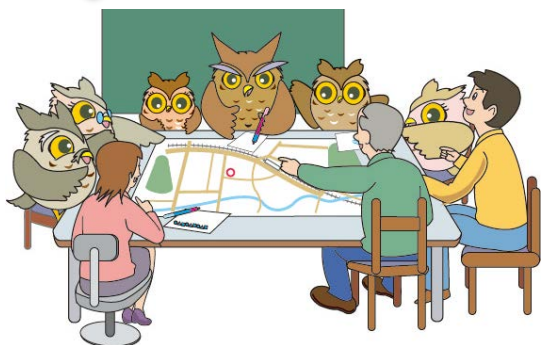
僕は若い人や、新たに活動をはじめの人に興味をもってもらえるような取組が大切だと思うよ。

他にどんな取組があるといいだろう？

私は、子ども達が楽しくのびのびと活動できる取組を増やしたいな。

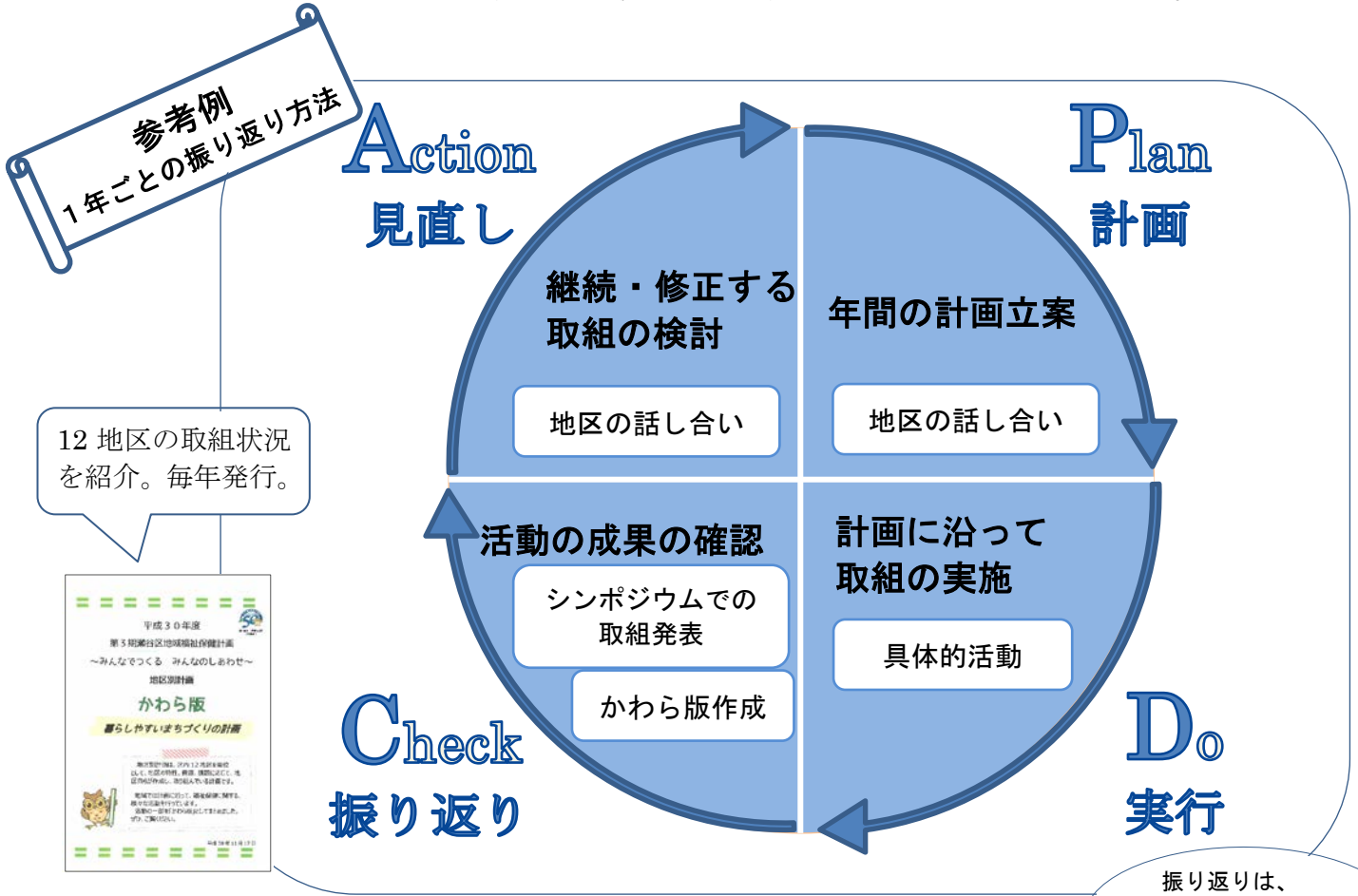
誰に関わってもらえるといいだろう？

学校、施設、企業などとも一緒に取り組むことができたらいいね！



◆ 1年ごとの振り返り

- ・計画した活動の状況を点検、評価し、各年度で“振り返り”を行きましょう。
- ・活動の成果の確認として、かわら版を作成し、“振り返り”を行きましょう。



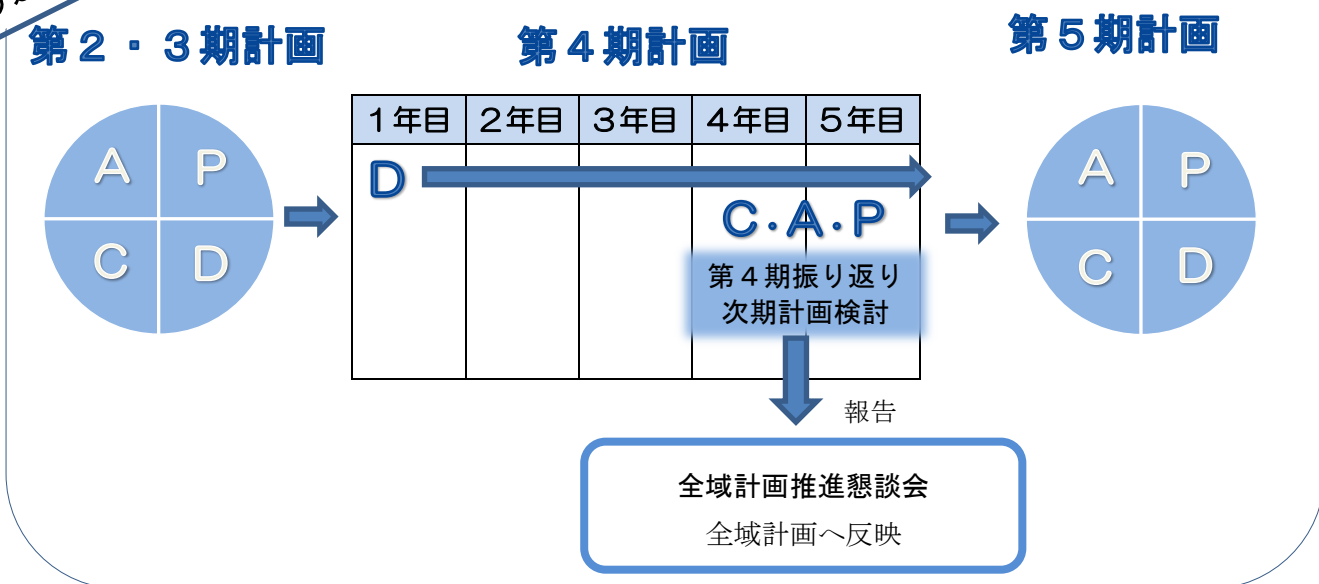
振り返りは、各地区で取り組みやすい方法でやってみてね！



◆ 5年を単位とした振り返り

地区別計画は5か年の計画です。5か年の期間のサイクルも意識し、次期計画につなげていきます。

**参考例**  
5か年サイクルの振り返り方法



## 第4章 地区支援チームと事務局について

### ◆地区別計画の策定・推進を支援する体制

瀬谷区では、各地区の取組（地区別計画、地域防災など）を支援するために、地区（連合単位）ごとに「地区支援チーム」を結成しています。メンバーは区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザの職員で構成しています。

#### 地区支援チームによる支援の例

地区別計画策定・推進のための地区の会議等へ参加し、

- ・地域福祉保健計画の概要説明
- ・策定・推進の進め方の助言（スケジュール管理）
- ・課題整理のための地区データ等の提供
- ・課題解決のため先進事例・活用可能な制度（補助金）等の情報提供
- ・関係機関・専門家等の紹介
- ・地区別懇談会の企画等の助言・支援

#### 第4期瀬谷区地域福祉保健計画 事務局体制

瀬谷区役所  
福祉保健課

瀬谷区社会福祉協議会

ニッ橋地域ケアプラザ  
阿久和地域ケアプラザ  
中屋敷地域ケアプラザ  
下瀬谷地域ケアプラザ  
ニッ橋第二地域ケアプラザ

### ◆さいごに

地域福祉保健計画・地区別計画は、皆さんがお住まいの地区における暮らしに関わりの深い計画です。その地区にお住まいの多くの皆さんが計画の策定・推進に関わり、共有していただき、よりよい地域づくりを進めていただきますようお願いいたします。



〇〇地区 地域福祉保健計画

5 第4期計画

1 地区の概況

地図

2 これまで（第1・2・3期）で取り組んだ  
主な活動や事業

3 第4期計画に向けての課題

4 推進母体

目標

取組内容等

## 第4期瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会 名簿

団 体 名	氏 名 (敬称略)
学識経験者	名和田 是彦
	岡田 朋子
瀬谷区医師会	太田 和代
瀬谷歯科医師会	大内 昇
瀬谷区薬剤師会	石田 七瀬
瀬谷区連合町内会自治会連絡協議会	網代 宗四郎
瀬谷区連合町内会自治会連絡協議会	奥津 敏雄
瀬谷区連合町内会自治会連絡協議会	諸橋 政治
瀬谷区社会福祉協議会	福田 愛一郎
瀬谷区社会福祉協議会障害福祉分科会	津田 秀幸
瀬谷区社会福祉協議会 社会福祉施設分科会	平本 千恵子
瀬谷区民生委員児童委員協議会	紅林 千津子
瀬谷区主任児童委員連絡会	久保蘭 祐子
瀬谷区青少年指導員連絡協議会	高橋 三雄
瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会	飯沼 宏氏
瀬谷区保健活動推進員会	安田 智子
瀬谷区食生活等改善推進員会	石川 みき子
瀬谷区障害者支援団体	八木澤 恵奈
瀬谷区子育て支援団体	宮本 早苗
瀬谷区シニアクラブ連合会	笹生 登
瀬谷区社会福祉事業者	中野 しずよ
瀬谷区ボランティア団体	森谷 薫
瀬谷区小学校長会	倉岡 ナオミ
瀬谷区中学校長会	山川 伸二
瀬谷福祉保健センター	五十嵐 吉光
	藤澤 智明

## ◆おわりに

瀬谷の地区別計画も第4期に入りますね。日本の地域社会は、自治会町内会を中心に、行政も手が回らない身近で大切な活動を手がけることによって、安心して暮らせる基盤となってきました。

地域活動は、一見変わらないようでも、実はいつも住民のニーズに応じて変化してきました。行政が身近な道路事業に手が回らない時代には道普請をしてきました。震災などを受けて防災活動に力を入れるようになりました。高齢化に直面して見守りなどを重視してきました。

昨今さらに、こどもたちのこと、障害のある方々のこと、外国籍の方々のことなどが意識され、地域福祉保健計画の策定において議論されています。

これからもずっと安心できる地域であるために、今何をすべきなのか、みんなで考えるためのとてもよい場が、地区別計画なのです。昨今の地域課題は専門性がやや高いものも多くなりました。地区支援チームの力を借りつつ、この指針を活用して、よい地域にしていましましょう。

### 第4期瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会委員 法政大学 法学部教授 名和田 是彦

昨秋、地区別計画を進める某地区委員会に参加させていただきました。出席者は地区連合代表者、全単位自治会長、地区社協、民児協、各種委嘱委員、シニアクラブ、小学校安全見守隊等々の方々。自治会の課題も福祉の課題も話し合う、顔の見える関係の場でした。今期計画の一つの、こどもの居場所活動が始まったと伺い、別日に開始2回目の活動日に会場に行きました。すでに役員さんと地域の元教師等のボランティアさん達が待機。集まってきた小学生は「家には誰も居ない、宿題はここで」と居心地良さそう。地域は共働き家庭が多い由。地元の小学校の校長先生が立寄って下さりこどもたちは嬉しそう。日頃から学校とも 課題を共有し、他の地区へも見学するなど準備をしてきたそうです。

瀬谷区地域福祉保健計画の愛称は「暮らしやすいまちづくりの計画」。誰もが排除されない緩やかな繋がりを大切にして、さらに「みんなで作るみんなのしあわせ」を実感できるよう、次期計画へと一緒に進んで参りましょう。

### 第4期瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会委員 福祉と保健の生活課題を考える会 代表 岡田 朋子

みんなであつくる

みんなのしあわせ



### 事務局お問い合わせ

横浜市瀬谷区福祉保健センター  
福祉保健課運営企画係  
TEL045-367-5702 FAX045-365-5718

社会福祉法人横浜市瀬谷区社会福祉協議会  
TEL045-361-2117 FAX045-361-2328

二ツ橋地域ケアプラザ (担当エリア 三ツ境地区 宮沢地区)

TEL045-361-9807 FAX045-361-9868

阿久和地域ケアプラザ (担当エリア 阿久和北部地区 阿久和南部地区)

TEL045-365-9892 FAX045-365-9894

中屋敷地域ケアプラザ (担当エリア 瀬谷第一地区 本郷地区 瀬谷北部地区 細谷戸地区)

TEL045-303-8100 FAX045-303-8111

下瀬谷地域ケアプラザ (担当エリア 瀬谷第二地区 南瀬谷地区)

TEL045-304-1291 FAX045-304-1259

二ツ橋第二地域ケアプラザ (担当エリア 瀬谷第四地区 相沢地区)

TEL045-360-7855 FAX045-360-6800